OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学低温センターだより No.60 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1987, 60
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/22230
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

＜編　集　後　記＞

昨年末、民間企業から大阪大学に移ってすぐに「低温センターだより」の編集委員の末席に参加させて頂いて間もなく１年、編集後記を書く順番が回ってきました。

民間企業にいた時の仕事を振り返ってみますと、何等かの形で会社の営利につながるテーマを選ぶことが研究所内で生き残ってゆくための必須条件でしたが、大学ではその様な制約が殆どなく、自由な発想の下で独創的な研究が行なわれていることに感心します。

民間企業では研究という名の技術開発が盛んで、それが昨今の半導体摩擦に続くココム違反事件問題などを引き起こしているように思えます。最近の高温超伝導物質発見の場合の様に、海外で見いだされた技術の芽を超大型企業が多額の金と多数の技術者をつぎ込み研究の中心に位置づけ、そして新技術の応用に関する特許を造出しその生産技術の開発に奔走する。このような民間企業の技術開発パターンに海外の人達が危機感を抱いていることは否めない事実です。

今後は、人・物・金の揃った企業の応用開発に比類する程度にまで基礎研究の質を高め、西欧至上主義の人達が納得できるように努力してゆくことが大学に課せられた使命の一つであると思います。この点を踏まえてここ１～２年の「低温センターだより」を読み返してみますと、研究テーマ自体、非常にバラエティーに富んでおりしかも内容の質が高く、阪大の層の厚さに今さらながら驚きました。また「低温センターだより」には低温に関する内容だけでなく、それ以外の関連した分野の研究内容の紹介もあり、研究者間の横のつながりを作る重要な役割を果たしているように思えます。本誌が低温研究における身近なコミュニケーションの場として、今後の創造活動の一助となるよう、研究の成果、各種のアイディア、ご意見等をどしどしお寄せください。

（谷口　研二）

大阪大学低温センターだより　第６０号
昭和６２年10月　発行

編集責任者　樽　田　孝　司
発　行　者　大阪大学低温センター
吹田分室　大阪府吹田市山田丘２番１号
電話（06）877－5111　内線4105
豊中分室　大阪府豊中市待兼山町１番１号
電話（06）844－1151　内線2162

印　刷　所　阪東印刷紙器工業所
大阪市福島区玉川３丁目６番４号
電話（06）443－0936（代表）

目　　次

No.60

研究ノート

分子から結晶へ ……理　学　部　交久瀬五雄 …… 1

高電界下におけるＧａＡｓ結晶の磁気フォノン共鳴 ……工　学　部　森　伸也、谷口　研二、浜口　智尋 …… 5

先端加工と電子波デバイス …基礎工学部　蒲生　健次 …… 9

半導体極微リングにおけるアハラノフーボーム効果 ……理　学　部　石田　修一 ……13

実験メモ

高周波伝送におけるノイズ …工　学　部　山本　雅彦 ……17

表紙写真 ： GaAs／GaAlAs　サブミクロンリング素子（本文 10ページ参照）